

新年に子供たちの未来を思う

園長 清水 弘美

あけましておめでとうございます。また、元旦からの能登半島地震で被災された方々および関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

昨日「20歳を祝う会」に参列してきました。成人が18歳になったため、八王子市は「20を祝う会」として20歳の人たちが実行委員形式でこのイベントを作っています。やる気のある若者たちが主体的に集まって、皆で話し合い役割を分担しながら実施しています。



八王子市全体のイベントを仕切る彼らの未来は明るいでしょう。そんなことを主体的にできる人を、どの企業も欲しいものです。自分で起業するかもしれませんね。どの業界でも成功する力を持っているということです。八王子市の今年の20歳は7256人、例年参加者は3500人を超える大きなイベントです。素人が計画から段取り、当日の司会などをこなすのですから大変なことだと思いますし、同時に一生の誇りになることも間違いありません。いつか、なかよし幼稚園出身の子供がこの実行委員を務めてくれるように成長してほしいと願っています。

チャンスがあったら掴みに行く勇気は、「勇気を出せ」と口で言っても出るものではありません。子供の時にたくさんの活動にチャレンジして、失敗したり成功したりしてやり遂げてきた体験が自信となって一步を踏み出す力になっているのです。うまくいかない時にもう一度立ち上がる力も、うまくいかなかった時に何とか立ち上がった経験の積み重ねで身に付けているのです。



自転車の乗り方やピアノの弾き方を言葉では教えられないように、体験して自分で身に付けていく力が本物の一生ものの生きる力なのです。

そしてその生きる力の基盤は5歳までにたくさん鍛え上げられます。幼稚園では、チャレンジすること、工夫すること、頑張り切ること、仲良くすることなどをシャワーのように体験して、心の力が育てていきます。嫌なことも、苦しいこともたくさん経験して、それでも楽しみながら自分の器を広げていくのです。

今年も、子供たちが自分たちで願った幼稚園での生活を、苦勞しながら作っていく体験をたくさん計画しています。その一つ一つを乗り越える中で、間違いなく成長していく子供たちの姿を一緒に楽しみましょう。

